

参加団体アンケート 集計結果と特徴

(1) 参加団体の概要

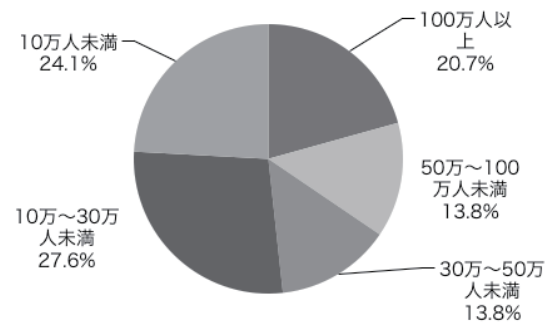
CCNJのサイトに各自治体の取組を紹介するページを設ける事を目的に、CCNJに参加する33自治体を対象に取組内容や今後ユネスコに申請をする可能性があるかのアンケートを行なった。(有効回答数29件)「創造都市は多様性こそ命」の言葉の通り、多種多様な取組が見られる。

1) 人口規模

全体としては、100万人を超える大都市から10万人未満の小規模自治体まで、非常にバランス良く構成されている。これは、自治体規模の大小にかかわらず、創造都市、創造農村という概念が文化政策、都市政策を語る上で注目されてきたことを表していると言えよう。また、人口規模30万人未満の自治体が約半数を占めているが、次年度以降、必然的にこのセグメントの割合が増加していき、大都市における創造都市論との違いをより明確にしていくステップになるであろう。

表 1-1 人口規模別回答状況

人口規模 (H26.3 現在)	回答数
100 万人以上	6 (20.7%)
50 万～100 万人未満	4 (13.8%)
30 万～50 万人未満	4 (13.8%)
10 万～30 万人未満	8 (27.6%)
10 万人未満	7 (24.1%)
全体	29 (100%)

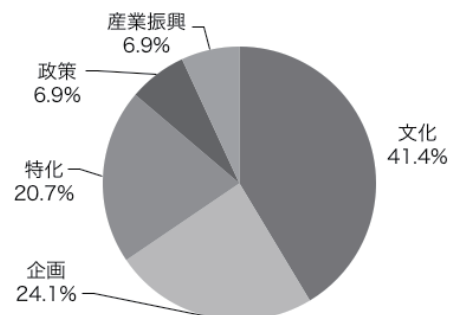


2) 主管部署

「文化芸術創造都市」を推進する主管部署は、約4割の自治体で文化振興系の部署が担っており、その中で最も多い担当課名は文化政策課である。次いで、企画系と創造都市施策特化系（以下特化系）が続く。ユネスコ創造都市認定都市、もしくは申請中の都市には、特化系の部署（鶴岡・食文化推進室、神戸・デザイン都市推進室など）を設けている例が目立つ。企画系の部署が担当するケースは、自治体規模が小さくなるほどその割合が高い。

表 2-1

担当部署系統名	該当数
文化振興系	12 (41.4%)
企画	7 (24.1%)
特化	6 (20.7%)
政策	2 (6.9%)
産業振興	2 (6.9%)
全体	29 (100%)



以下担当課、担当室名

政策企画部プロジェクト室、文化施設、文化財課、食文化推進室、企画政策課、文化振興課、文化デザイン課、創造都市推進課、文化政策課、文化創造推進室、企画調整課、企画財政課、文化室、企画課、企画課創造都市推進グループ、文化芸術企画課、デザイン都市推進室、創造都市推進局産業振興課、総合政策課、産業振興課

表 2-2 人口規模別担当部署系統

担当部署系統						
自治体規模	文化	企画	特化	政策	産業振興	総計
100 万人以上	3		2	1		6
50 万～ 100 万人未満	2	1	1			4
30 万～ 50 万人未満	1	1		1	1	4
10 万～ 30 万人未満	4	2	2			8
10 万人未満	2	3	1		1	7
総計	12	7	6	2	2	29

3) 主な取組の内容

主な内容としては6割以上の自治体がアート関係の取組を挙げているが、一つの分野だけではなく、音楽とアート、食文化と映画というように、多分野を掛けあわせた複合的な取組が多く見られる。また、分野は同じでも一般的なイベント形式、地域住民への文化定着としての教育推進形式、産業支援・担い手支援形式というように異なる切り口から地域における創造性の向上に挑戦していると言える。

また、ヨコハマトリエンナーレ（横浜市）、札幌国際芸術祭等（札幌市）が代表するような人口規模 100 万人を超える自治体で行われる大規模な現代アートイベントだけでなく、大地の芸術祭（十日町市）、中之条ビエンナーレ（中之条）といった、里山や空き家などを地域資源と捉えて、文化活動を結びつけることで、まちづくり活動に昇華させている例や、ならまちわらべうたフェスタ（奈良市）、木曾学研究所（長野県）の例のように、文化＝「地域の暮らし」という視点で取り組む事例も多く挙がっている。

主な取組にあげられた内容

アート（デザイン系）イベント
 アート地域交流
 音楽祭、音楽イベント
 食文化の振興、発信
 伝統産業、工芸
 舞台芸術、パフォーマンス
 映画祭

4) 造都市推進や取組に関する条例、ビジョン等

主な創造都市の取組紹介では、施策を進める上で条例や計画、振興の為のビジョンを約6割（18件）の自治体があげた。本年メディアアーツでユネスコに認定された札幌市は「創造都市さっぽろ宣言」を2006年に掲げている。本年度では10月に高松市が「高松市創造都市推進ビジョン」を策定した。それぞれの自治体が目指していく方向性を定めるという流れが、今後ますます加速していくであろう。また、創造都市推進や取組に関する条例、ビジョンを制定している都市のほとんどは、景観行政団体でもある。（豊

島区は認定に向けて準備中) まちの景観が文化施策と密接に関係し合いながら進められることで、より創造的な空間が構成されることを表していると言えよう。伝統的な古い町並みを多く残す地域では、景観計画の他に歴史文化基本構想や歴史的風致維持向上計画も制定されている。

以下、施策を実施していく基本、もしくは過程で名前があげられた条例、ビジョン

文化芸術都市創造条例、文化芸術振興条例、文化振興条例、文化芸術都市創生計画、文化振興ビジョン、文化創造都市ビジョン、推進プログラム、創造都市宣言、文化創造都市宣言、等

5) 活動拠点

交流センター、文化政策センター等が、取組を進めていく為に活動拠点としての役割を持っている事例が多く紹介されていた。運営をアート系 NPO 法人や外郭団体に委託する形式が多くみられ、産学官、市民と供に取組を進めていこうとする姿勢が感じられる。アーティストの支援、育成事業の為に施設も多い。

今回の調査では、運営体制の具体的な内容には踏み込んでいないが、実際にどのように拠点づくりが進められたのか、また、民間が管理・運営を行うことでどのような効果が期待されるか、実際に効果があったか、といった視点での調査を行い、ネットワーク内外で共有していくことで、さらに創造都市の取組を深みのあるものに繋げられるであろう。

6) ユネスコへの申請状況 (回答があった自治体のみ)

認定済	4 (デザイン 2、クラフト&フォークアート 1、メディアアーツ 1)
申請中	4 (食文化 2、音楽 1、クラフト&フォークアート 1)
予定無し	21

※申請までの過程については後述の、「ユネスコ申請に至る各都市の取組と経緯」を参照されたい

(2) 取組事例 (詳細 :<http://ccn-j.net/>)

アートイベント

- ・札幌国際芸術祭 (札幌市)

複合的な地域体験型アートイベント。今年1回目となる「札幌国際芸術祭2014」を開催。<http://www.sapporo-internationalartfestival.jp/>

- ・アート de まちあるき (仙北市)

重要伝統的建造物群保存地区を舞台にアートを展示。芸術、文化、歴史に触れるイベント。

- ・中之条ビエンナーレ (中之条市)

参加団体の中でも規模の小さい自治体 (人口2万人弱) ではあるが、農村風景ともてなしに対する評価が高い、特色あるアートイベント。入場者数35万8千人 (2011年/創造農村シンポジウム 入内島氏発表内容より) <http://nakanojo-biennale.com/>

- ・水と土の芸術祭 (新潟市)

新潟市を特徴づける「水と土」の文化・地域資源に着目し、その魅力をアートを通じて発見・発信し、市民と協働で磨き上げる芸術祭。72万4千人 (2012/総括報告書より)

- ・大地の芸術祭 (十日町市)

過疎高齢化に悩む越後妻有地域を舞台にした、文化・芸術による地域づくりのアートプロジェクト。地域住民との協働による現代アート作品制作及び展示、ワークショップやパフォーマンスイベントなど。入場者数は、48万8千人 (2012年/大地の芸術祭実行委員会統括報告書より) <http://www.echigo-tsumari.jp/>

- ・横浜トリエンナーレ (横浜市)

日本を代表する現代アートの国際展。次回は本年2014年に行なわれる。入場者数33万3千人 (2011年/横浜トリエンナーレ特設サイトより) <http://www.yokohamatriennale.jp/>

- ・丹波篠山・まちなみアートフェスティバル (篠山市)

重要伝統的建造物群保存地区を舞台に地元ゆかりのアーティストが町屋に芸術作品を展示するイベント。<http://sasayama-art.com/>



十日町



篠山市

地域産業、工芸イベント

- ・金沢・世界工芸トリエンナーレ（金沢市）

金沢の伝統工芸を国内外に発信するとともに、さらに発展させて未来へと継承していく。

音楽イベント

- ・木曽音楽祭（木曽町）

日本のクラシック音楽祭の草分け的な存在。2014年に40周年を迎える。町民の手作りで始まり、ボランティアと行政が中心となり続けられている。

- ・浜松国際ピアノコンクール（浜松市）

1991年にスタート、若いピアニストの研鑽の成果を披露する場の提供と育成、振興、推進を目的としている。

- ・くるめ街かど音楽祭（久留米市）

多彩な音楽ジャンルのステージを複数会場で実施。市民の間に息づいている音楽文化を活かし、まちに誇りや賑わいをもたらすことを目指している。

舞台芸術、他

- ・フェスティバル／トーキョー／（豊島区）

こどもを対象としたアートワークショップ「にしすがも創造舎」、舞台芸術発信と育成拠点「あうるスポット」等を中心拠点に行なわれる日本最大の舞台芸術フェスティバル。<http://festival-tokyo.jp/>

- ・ならまちわらべうたフェスタ（奈良市）

今年で21回目、昔懐かしい遊びや風情が感じられるイベントとして古都奈良の秋の風物詩。日本ユネスコ協会連盟「第1回プロジェクト未来遺産」にも登録。



金沢市



浜松市



久留米市

交流、育成拠点の紹介

- ・八戸ポータルミュージアムはっち（八戸市）
「地域の資源を大事に想いながら新たな魅力をつくり出すこと」をコンセプトにした文化観光複合施設。
<http://hacchi.jp/>
- ・アーツコミッションヨコハマ（横浜市）
アーティストやクリエイター、NPO、市民、企業などの「創造の担い手」をサポートする中間支援機能。
活動の相談、助成を行なう。
- ・静岡市クリエイター支援センター（静岡市）
クリエイティブ産業の集積を図るとともに、クリエイターと地元企業のマッチング、新商品開発を支援。
<http://www.c-c-c.or.jp/>
- ・鴨江アートセンター（浜松市）
ジャンルを越えたアーティストやクリエイター達の表現活動を支援し、市民や地域との交流を促進する拠点としてだけでなく、発信の拠点にもなっている。<http://kamoeartcenter.org/>
- ・東山 アーティスツ・プレイメント・サービス（HAPS）（京都市）
芸術家の育成、活動支援、若手芸術家等の居住、制作、発表の場づくり。<http://haps-kyoto.com/>
- ・デザインクリエイティブセンター（KIITO）（神戸市）
創造的人材の育成・集積を図るためにゼミ、レクチャー、ワークショップなどを実施。<http://kiito.jp/>



八戸市



静岡市



神戸市

(3) ユネスコ申請に至る各都市の取組と経緯

アンケートの回答によると、鶴岡市、新潟市、浜松市、篠山市の4都市が、平成25年度中にユネスコ創造都市ネットワークに申請書を提出。平成26年度中の認定を目指している。各都市ともに文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞しており、申請にいたるまでに数年来の取組を重ねている。

ユネスコ創造都市ネットワークへの申請状況については、CCNJ参加団体においても非常に関心が高い事柄であるため、取組の概要と経緯について、新潟市と浜松市にヒアリングをおこなった。尚、2都市ともに平成26年度の幹事団体に選出されている。

1) 新潟市／ガストロノミー

①目的と背景

新潟市は、米を中心とした分野に関しては、国内外に比肩するものがないほど多様な文化（米作りの幅広い技術、コシヒカリ等のブランド、日本酒、菓子、発酵食、伝統的な料理、食関連イベント、顕彰事業、料亭、芸妓のおもてなしなど）を有する。



米を中心とした豊かな食文化を世界へ 新潟市

これら新潟市の食文化について、

世界的な水準であることが認定されれば、地域の誇りづくりにつながるとともに、ユネスコの名称使用などを通じて、国内外に向けた強い発信力を持つ事ができる。

合わせて、ネットワークを結んだ都市と連携して相互のステータスをさらに高めて、交流人口の増加や地域の産業の育成にも貢献できる。

②これまでの経緯

平成23年	2月	議会説明（認定に向け本格始動）
	8月	申請要旨提出
	11月	ユネスコ創造都市ネットワーク・ソウル会議出席 （ユネスコの事情によりネットワーク事業審査手続きが停止）
平成24年	8月	ユネスコ日本政府代表部特命全権大使に新潟市の取組を説明（パリ）
平成25年	3月	申請書素案提出
	9月	ユネスコ事務局次長に新潟市の取組を説明（パリ）
	10月	全州ユネスコ創造都市フォーラム出席
平成26年	2月	申請書提出

③主となる取組団体

食と花の世界フォーラム組織委員会（食文化創造都市推進研究会）<http://www.shokuhana.com/about/>

④平成26年度に予定されている事業

- ・食と花の世界フォーラムにいがた2014開催 <http://www.shokuhana.com/>
- ・にいがた食文化クリエイティブ・フォトコンテスト（第3回）

⑤官民連携の取組

にいがた食の陣等、食のフェスティバル／食と花の世界フォーラムにいがた／食育・教育ファームの推進、ニューフードバレーの形成 など

2) 浜松市／音楽

①目的と背景

「創造都市・浜松」の実現に向け、ユネスコ創造都市ネットワークへ加盟することで、浜松の音楽文化を世界へ発信するとともに、他都市との連携や交流を図り、「音楽の都づくり」を推進していく。

○目指す創造都市の姿

- ・浜松のものづくりや音楽、多文化共生などの根底にある“やらまいか精神”“柔軟で寛容な市民性”が、まちづくりや暮らしに広く活かされていく都市
- ・市民が常に新しい試みにチャレンジし、次々と新しい価値を生み出していく都市
- ・創造的な人材や企業が集積し、日常空間を創造空間（魅力的な都市空間）に変え、市民の暮らしに刺激を与えていく都市

②これまでの経緯

平成22年	8月	第1回浜松創造都市推進会議開催時に加盟を目指す公表
平成23年	3月	ユネスコに加盟申請書を提出 (ユネスコの事情によりネットワーク事業審査手続が停止)
平成26年	2月	新フォーマットに基づき、申請書再提出

③主となる取組団体

「浜松創造都市推進会議」

浜松市、浜松商工会議所、静岡文化芸術大学、浜松市文化振興財団などにより構成

④平成26年度に予定されている事業

- ・静岡国際オペラコンクール <http://www.suac.ac.jp/opera/soc/>
- ・世界青少年音楽祭

⑤官民連携、市民協働の取組

- ・みんなのはままつ創造プロジェクト／はままつくす



歴史と伝統を誇る楽器と音楽のまち 浜松市

昨今盛りあがりを見せている「創造農村」の鶴岡市と篠山市についても、同じく平成26年3月にユネスコに申請書を提出している。2都市ともに設立時からCCNJの幹事団体として、活動を率先している。以下取組の概要である。

3) 鶴岡市／ガストロノミー

多彩な食文化を次代に継承するとともに、食関係産業の振興に取り組むことを目的に、産・学・官・民の連携のもと「鶴岡食文化創造都市推進協議会」を設立。ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請の主体事業となっている。平成23年にはソウル市において開催された「ユネスコ創造都市ネットワーク会議 in ソウル



2011」に参加し、鶴岡の食文化の魅力と将来ビジョンをアピールする演説を行い、同ネットワークへの加盟を目指すことを表明。さらには国際的なプロモーション活動を展開している。

4) 篠山市／クラフト&フォークアート

丹波篠山築城400年祭をきっかけに、篠山に残る様々な文化を土台に新しい独自の文化を創造することで、内外に誇れる丹波篠山スタイルを創り出していこうと創造的なまちづくりを進めている。平成25年度9月に、篠山市創造都市推進計画を策定した。「暮らしに結びついた産業」を創造産業と位置づけ、その具体的な振興策を取りまとめている。



早ければこの秋に登録承認が発表される。また各都市においては今年度も活発な活動が予定されている。今後の動向に注目したい。

CCNJ 参加団体アンケート概要

人口規模区分	都市名	所管部署	所管部署系統	団体区分	ユネスコ創造都市申請状況	活動内容の概要	文化交流拠点および派生組織、協力団体	文化庁長官表彰受賞年度	創造都市に関連する指針・宣言・条例・計画等	景観行政団体※	景観計画※	歴史文化基本構想 歴史的風致維持向上計画
100万人以上	横浜市	文化観光局 創造都市推進部 創造都市推進課	特化	政令市	予定なし	歴史的建造物などを活用し、アーティスト・クリエイターの活動拠点を提供する「創造界隈拠点」の形成、アートの国際展である横浜トリエンナーレの開催や、スマートイルミネーションの開催に取り組んでいる。	BankART Studio 急な坂スタジオ 初黄・日ノ出町文化活動振興拠点 ヨコハマ創造都市センター・象の鼻テラス アーツコミッションヨコハマ（中間支援機能）	H19	横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方 横浜市の文化芸術政策における中期的方針	H16.12	横浜市 景観計画	-
100万人以上	札幌市	市長政策室政策企画部 プロジェクト担当	政策	政令市	H25年度認定 メディアアーツ	アジア初の「メディアアーツ都市」認定を受ける。(H25.11) さっぽろ雪まつりプロジェクトマッピングなどの、メディアアーツを活用した既存の観光資源の魅力向上や、まちの活性化をベースに、都市ブランド力の向上、産業振興・人材育成を実施。札幌国際芸術祭2014を開催予定（2014年7月～）	札幌駅前通地下歩行空間北2条広場 大通公園 札幌メディアアーツラボ 通称：SMAL（産学官連携組織）	H20	創造都市さっぽろ宣言 札幌市文化芸術振興条例 札幌市文化芸術基本計画	H16.12	札幌市 景観計画	-
100万人以上	神戸市	企画調整局 デザイン都市推進室	特化	政令市	H20年度認定 デザイン	創造都市「デザイン都市・神戸」の推進。 「KOBEDesignの日」記念イベントや、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）を拠点に創造的人材の育成・集積を図るためのゼミ、レクチャー、ワークショップなどを実施。	KIITO（デザインの拠点）	H22	「デザイン都市・神戸」を推進するための基本的方針 神戸2010ビジョン文化創生都市推進プラン	H16.12	神戸市 景観計画	-
100万人以上	京都市	文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課	文化	政令市	予定なし	「京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援」や「ロームシアター京都の創造・発表拠点としての再整備」、「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」等を重点的に展開。	京都芸術センター ロームシアター京都 HAPS（アーティスト支援センター）	-	京都文化芸術都市創生条例 京都文化芸術都市創生計画	H16.12	京都市 景観計画	京都市歴史的風致維持向上計画 (H21.11)
100万人以上	さいたま市	市民・スポーツ文化局 スポーツ文化部 文化振興課	文化	政令市	予定なし	「さいたま市文化芸術都市創造条例」に基づく「さいたま市文化芸術都市創造計画」を策定中。 盆栽、マンガ、人形鉄道といった地域資源を活用・発信や、芸術祭の開催、アーティスト・イン・レジデンスを通じた芸術家と地域の交流促進などを推進する予定。	-	-	さいたま市文化芸術都市創造条例 さいたま市文化芸術振興計画	H16.12	さいたま市 景観計画	-
100万人以上	仙台市	市民局文化スポーツ部 文化振興課	文化	政令市	予定なし	「劇都」「楽都」をテーマに、音楽振興・舞台芸術振興を実施。仙台国際音楽コンクール、仙台クラシックフェスティバルの開催や、舞台芸術振興、仙台フィルハーモニー管弦楽団の運営支援などを行う。	せんだい演劇工房10-BOX (演劇系練習施設)	H21	仙台市における芸術文化振興のための指針	H16.12	仙台市 景観計画	-
50万～100万人未満	新潟市	文化観光・スポーツ部 文化政策課	文化	政令市	申請中 ガストロノミー (食文化)	食を生かした創造的なまちづくり、食文化の発信や、暮らし文化をアートを通じて発信・発信する「水と土の文化創造」、マンガ・アニメを生かしたまちづくりなどを「新潟市文化創造都市ビジョン」をもとに取り組んでいる。	-	H24	新潟市文化創造都市ビジョン	H16.12	新潟市 景観計画	-
50万～100万人未満	浜松市	企画調整部 企画課創造都市推進グループ	特化	政令市	申請中 ミュージック (音楽)	創造的・独創的なスタートアップ事業応援プロジェクト「みんなのはままつ創造プロジェクト」、鴨江アートセンターでのアーティスト・クリエイターの表現活動の支援等を実施。	鴨江アートセンター (クリエイター支援&地域交流活動)	H23	創造都市推進のための基本方針	H16.12	浜松市 景観計画	-
50万～100万人未満	静岡市	企画局 企画部企画課	企画	政令市	予定なし	国内外のパフォーミングアーティストが集結する「大道芸ワールドカップ」、姉妹都市・カナヌ市とのつながりをPRする「シズオカxカンヌウィーク」の開催、シズオカ市クリエイター支援センター（CCC）の運営等。	CCC（静岡市クリエイター支援センター）	-	静岡市まちみがき戦略推進プラン ～静岡を「希望の岡」に～	H16.12	静岡市 景観計画	-
50万～100万人未満	鳥取県	文化観光局 文化政策課	文化	県	予定なし	アーティストリゾート（アーティストインレジデンス：AIR）を推進。受け入れ団体の育成（暮らしとアートとコノサキ計画）や、拠点施設を持ったAIR事業の支援（鳥の演劇祭、鳥取市中心市街地ホスピタリティプロジェクトなど）を展開。	-	-	鳥取県文化芸術振興条例	H16.12	鳥取県 景観計画	-

人口規模区分	都市名	所管部署	所管部署系統	団体区分	ユネスコ創造都市申請状況	活動内容の概要	文化交流拠点および派生組織、協力団体	文化庁長官表彰受賞年度	創造都市に関連する指針・宣言・条例・計画等	景観行政団体※	景観計画※	歴史文化基本構想 歴史的風致維持向上計画
30万～50万人未満	金沢市	都市政策局 企画調整課	企画	中核市	H21年度認定 クラフト&フォークアート	クラフト都市として、文化のビジネス化、人材の育成、世界への発信という観点から「おしやれメッセ」や、「クリエイティブ・ワルツ」、「金沢・世界工芸トリエンナーレ」などの事業を展開。	創造都市推進委員会	H19	創造都市推進プログラム 金沢市文化芸術振興プラン	H16.12	金沢市 景観計画	金沢市歴史遺産保存活用計画マスタープラン (H21.3) 金沢市歴史的風致維持向上計画 (H21.1)
30万～50万人未満	高松市	創造都市推進局 産業経済部 産業振興課	産業振興	中核市	予定なし	創造都市推進のための組織「創造都市推進局」を設立。有識者による高松市創造都市推進審議会、青年層を中心とする創造都市推進懇談会を設置。平成25年10月末に「高松市創造都市推進ビジョン」を策定。利用していない立地に優れた公共施設を有効活用した社会実験も実施。		-	高松市創造都市推進ビジョン	H16.12	高松市 景観計画	-
30万～50万人未満	奈良市	市民活動部文化 振興課	文化	中核市	予定なし	「ならまち」エリアの文化拠点を中心に、歴史的文化遺産への親しみの場の提供、伝統工芸の継承などを行い、景観の維持を目指すとともに地域文化を振興。今年で21回を迎える「ならまちわらべうたフェスタ」の開催、など。		-	奈良市文化振興条例 奈良市文化振興計画	H16.12	奈良市 景観計画	-
30万～50万人未満	久留米市	総合政策部 総合政策課	政策	中核市	予定なし	多彩な音楽ジャンルのステージを市内複数会場で開催する「くるめ街かど音楽祭」の実施。文化芸術振興、広域交流促進、賑わい交流の拠点となる久留米市総合都市プラザが平成27年度末にオープン予定。	久留米市総合都市プラザ (文化交流拠点)	-	久留米市文化芸術振興条例 久留米市文化芸術振興基本計画	H20.4	久留米市 景観計画	-
10万～30万人未満	豊島区	文化商工部文化 デザイン課	文化	特別区	予定なし	区内にオープンした美術館や文化拠点での活動を中心に、外郭団体とも協力しながら、文化施策を展開。廃校を活用した「にしすがも創造舎」にて、アートワークショップなどを実施。舞台芸術交流センター「あうるすぽっと」では、舞台芸術の創造発信とその担い手育成によるにぎわい創出とまちの活性化を図っている。	にしがうも創造舎 あうるすぽっと（舞台芸術交流センター） 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 熊谷守一美術館 アートネットワーク・ジャパン 芸術家と子どもたち	H20	文化創造都市宣言/ 豊島区文化芸術振興条例	-	-	-
10万～30万人未満	八戸市	八戸ポータル ミュージアム	特化	特別市	予定なし	文化観光複合プロジェクト（八戸ポータルミュージアムはっち）および、地域交流アートプロジェクトである「南郷アートプロジェクト」（ダンス公園、アーティスト定住実験プロジェクトなど）などを実施。	八戸ポータルミュージアムはっち（文化観光複合施設） 芸術環境創造専門員、はっちディレクター、コーディネーター	H25	-	H19.7	八戸市 景観計画	-
10万～30万人未満	小田原市	文化部 文化政策課	文化	特別市	予定なし	「小田原市文化振興ビジョン」に基づいて、芸術文化創造センターを整備中（H28完成予定）。また、子どもたちが質の高い芸術活動に触れる文化アウトリーチ活動も積極的に展開。	芸術文化創造センターの整備中	-	小田原市文化振興ビジョン	H17.2	小田原市 景観計画	小田原市歴史的風致維持向上計画 (H23.6)
10万～30万人未満	高岡市	都市経営課 文化創造推進室	文化	中核市	予定なし	文化創造都市高岡推進フォーラムの実施や、万葉故地高岡として高岡万葉亭楽宴事業、高岡万葉まつりの実施、富山大学芸術文化学部との連携事業として、工芸・生活・産業が同居するゾーンミュージアム「金屋町楽市」、クラフト市場街などを展開。		-	文化創造都市ビジョン (仮)の策定予定	H18.7	高岡市 景観計画	高岡市歴史文化基本構想 (H23.3) 高岡市歴史的風致維持向上計画 (H23.6)
10万～30万人未満	佐倉市	企画政策部企画 政策課	企画	中核市	予定なし	「佐倉・城下町400年記念事業」として、「佐倉学」の推進、江戸の賑わいを再現したイベント「佐倉・時代まつり」の実施、フィルムコミッション等、幅広い事業を実施。		-	-	H17.12	-	-
10万～30万人未満	鶴岡市	政策推進課食文化 推進室	特化	中核市	申請中 ガストロノミー (食文化)	「食の理想郷」を将来像とする食文化創造都市推進事業を実施。食の祭典、鶴岡食の国際映画祭などを行い、多分野と連携した活動を進めている。「食」から「職」の創造を目指す人材育成も推進。	食文化創造都市推進協議会	H23	-	H18.5	鶴岡市 景観計画	鶴岡市歴史的風致維持向上計画 (H25.11)

人口規模区分	都市名	所管部署	所管部署系統	団体区分	ユネスコ創造都市申請状況	活動内容の概要	文化交流拠点および派生組織、協力団体	文化庁長官表彰受賞年度	創造都市に関連する指針・宣言・条例・計画等	景観行政団体※	景観計画※	歴史文化基本構想 歴史的風致維持向上計画
10万～30万人未満	草津市	総合政策部 企画調整課	企画		予定なし	草津市出身の著名人によるシティセールsteam「KUSATSU BOOSTERS」の結成、「くさつ魅力発信塾「マッキーのいいねゼミナール2013」の開催、「草津市シティセールス活動認定事業」の認定等を実施。		-	-	H23.6	草津市 景観計画	-
10万～30万人未満	可児市	市民部 生涯学習文化室	文化		予定なし	可児市文化創造センターalaを拠点とした「まち元気プロジェクト」を主軸事業として展開。アーティストによるワークショップや、プロの俳優とスタッフが滞在型で演劇作品を作り上げる「アラコレクションシリーズ」などを展開。	文化創造センターala	-	-	H17.11	可児市 景観計画	-
10万人未満	舞鶴市	文化振興課	文化		予定なし	「赤れんがサマー・ジャズ in 舞鶴」や文化創造拠点「舞鶴赤れんがパーク」のオープンなど赤れんがを活かした個性的なまちづくりを展開。アートプロジェクト「MAIZURU RB」の実施、食文化を活かしたまちづくり「肉じゃがまつり」などを展開。	舞鶴赤れんがパーク (文化創造拠点)	H23	-	-	-	-
10万人未満	十日町市	産業観光部 観光交流課	産業振興		予定なし	過疎高齢化に悩む越後妻有地域を舞台に、2000年から始まった文化・芸術による地域づくりのアートプロジェクト「大地の芸術祭」をトリエンナーレとして開催運営。開催年以外にも通年した作品公開やアートプログラムを開催し、「大地の芸術祭の里」として取り組んでいる。		H22	-	-	-	-
10万人未満	南砺市	南砺市教育委員会 文化・世界遺産課	特化		予定なし	世界遺産五箇山の合掌造り集落や、五箇山民謡などの伝統文化を継承すると同時に、「SCOTサマーシーズン」「いなみ国際彫刻キャンプ」などを開催し、新たな世界を取り入れつつ地域振興を図っている。また、「TOGA国際芸術村」構想による「富山から世界に発信する芸術文化の振興」を進めている。		H22	-	-	-	-
10万人未満	篠山市	政策部企画課	企画		申請中 クラフト& フォーク アート	「暮らしに結びついた産業の育成」を目指し、創造農村と称したまちづくりを展開。まち歩きや地域文化の学習会、伝統的な祭りの復活といった市民活動から「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」などが生まれた。		H20	篠山市総合計画 篠山市創造都市推進計画	H23.1	篠山市 景観計画	篠山市歴史文化基本構想 (H23.3)
10万人未満	仙北市	教育委員会文化財課	文化		予定なし	角館の商家や蔵を利用した作品展「アートdeまちあるき」を実施。豊かな文化・観光資源を活かした交流人口の増加、文化芸術に携わる雇用の創出を企図した「田園型・創造都市（創造農村）」づくりを目指す。		H23	-	H21.10	-	-
10万人未満	中之条	企画政策課	企画		予定なし	伊参スタジオ映画祭、中之条ピエンナーレを文化事業として継続支援。廃校活用、若手の映像作家支援、空き家活用に寄るアーティスト支援によるまちづくりに繋げている。		H21	-	H21.8	中之条町 景観計画	-
10万人未満	木曾町	企画財政課	企画		予定なし	「過去に学び、地域を見つめ、将来を創る」をテーマに地域固有の自然や歴史、伝統、文化など山村に息づく貴重な資源を学ぶ木曾学研究所や、2014年に40周年を迎える日本のクラシック音楽祭の草分け的存在である木曾音楽祭を実施。	木曾学研究所	H22	-	-	-	-

※2013年9月30日時点

Ⅰ 第4章 会議、研修の実施

(1) 創造農村ワークショップ「なつかしいみらい。」

日程：平成25年8月25日(日)

主催：文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)

共催：木曽町

会場：木曽町 木曽郡民会館

テーマ：地域資産と創造農村

内容：9:00～9:20 主催者あいさつ(文化庁)
開催地あいさつ(田中勝己町長)

9:20～12:15 パネルディスカッション

モデレーター：

佐々木雅幸氏(大阪市立大学大学院創造都市研究科教授/同都市研究プラザ所長)

パネリスト：

木曽町 田中勝己氏(木曽町長/木曽広域連合長)

中之条町 入内島道隆氏(前中之条町長/NPO法人ぐんまCSO理事長)

神山町 大南信也氏(NPO法人グリーンバレー理事長)

篠山市 金野幸雄氏(流通科学大学教授/一般社団法人ノオト代表理事)

参加状況 86人

内容と評価

CCNJの顧問でもある佐々木氏をファシリテーターに迎え、中之条町、木曽町、篠山市、神山町の4都市より「地域資産と創造農村」をテーマとした、各々の取組が発表された。

事業開始が8月からとなり、本ワークショップの広報期間も非常に短くなり、遠方からの参加は少ない傾向にあった。しかし木曽町は比較的小さい自治体ではあるが、長く地域研究や交流事業を実施しており地域住民や町づくり団体の参加が目立った。

内容的には、過疎化に対してどう立ち向かうか、という多くの地方自治体が抱えている課題に対して、積極的、創造的な取組事例の発表がおこなわれた。パネリストは、それぞれの地域において活動に取り組む実践的な団体のリーダーであり、現場でのリアルな取組内容、取組手法が参加者の関心を高めた。

アンケートの集計結果でも「創造都市(創造農村)への取り組みから、今後のまちづくりに可能性を感じますか」という設問に92%の人が「はい」と答えており、取組の理念や方法論を聞く事が出来て有意義だった、というような感想が多く見られた。最後に行なわれた質疑応答の時間では「創造農村」の考え方、評価指標が話題となった。

(2) 創造都市政策セミナー「メディア芸術と創造都市」

日程 : 平成25年11月2日(土)～3日(日)
主催 : 文化庁、創造都市ネットワーク日本(CCNJ)
共催 : 新潟市
会場 : 新潟市 新潟東急イン

1) シンポジウム「メディア芸術と創造都市」

日程 : 平成25年11月2日(土)

テーマ: メディア芸術と創造都市

内容 :

主催者あいさつ(文化庁)

開催地あいさつ(新潟市長)

1部 13:45～15:45 導入、パネルディスカッション、報告

ファシリテーター: 太下 義之氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター
主席研究員/センター長)

パネリスト:

札幌市 酒井 裕司氏(札幌市市長政策室プロジェクト担当部長)

京都市 白須 正氏(京都市産業観光局長)

新潟市 木村 勇一氏(新潟市文化観光・スポーツ部長)

2部 16:00～17:00 スペシャルインタビュー「へうげものからみる創造都市」

インタビュアー: 太下 義之氏

ゲスト:

田村 一氏、金 理有氏(クリエイター「激陶者集団・へうげ十作」)

藤沢 学氏(株式会社講談社モーニング編集者)

参加状況: 95人

内容と評価

日本の強みでもある「メディア芸術」をテーマとし、1部に行政、2部にアーティストとアプローチの視点を変えた2部形式で行なった。

1部では太下氏をファシリテーターにお招きし、この分野で大きなポテンシャルを持つ札幌市、京都市、新潟市の3都市におけるマンガ・アニメ、プロジェクトマッピングなどの「メディア芸術」をテーマとした取組が発表された。まだ馴染みの薄い分野である為か、それぞれの個性が際立ち、また積極的な取組が目立った。

2部では3名のアーティストを招き、「『へうげもの』からみる創造都市～クリエイターが育ち、活動しやすいまちとは～」をテーマとして、インタビュー形式で行なわれた。地元出身アーティストの関係者をゲストに迎えたことで、一般市民の関心も高く、幅広い分野からの参加がみられた。(参加者の内訳は行政が4割、法人・団体が3割、個人が3割)

1部と2部で発言者の立場の違いによる価値観の違いが鮮明になった点も、参加者の関心を高めたようである。行政が「メディア芸術」に取り組むことに関しては、関心が高い分野でもあるが賛否両論もあり、「(アニメではなく)地域の固有文化の方を開拓してほしい」「自治体が何故アニメに直接関わるのかその必要性

を感じない。」といったコメントも目立ち、アンケート結果にも顕著にあらわれている。これもこれからの課題のひとつとなるだろう。

2) 入門セミナー 「創造都市を目指すもの」

日時 : 平成25年11月3日(日)

テーマ: 創造都市を目指すもの

内容 : 9:30~10:00 問題提起
10:00~11:00 報告(各都市 各15分~20分程度)
11:00~11:55 ディスカッション
11:55~12:00 閉会あいさつ

講師:

大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、同都市研究プラザ所長
佐々木雅幸氏

鳥取大学 地域学部教授 野田 邦弘氏

パネリスト:

高松市 宮武寛氏(創造都市推進局長)

金沢市 松本尚人氏(政策局企画調整課政策推進グループ長)

横浜市 奥田裕之氏(創造都市推進課長)

参加状況 41人

内容と評価

入門セミナーは、「創造都市をめざすもの」をテーマに行なわれた。自治体向けのセミナーであるが、一部一般市民からの参加や発言がみられたことも意義深い。

講師には創造都市の具現化とネットワーク構築に取り組む佐々木氏、野田氏を迎え、「創造都市」の最前線を走る高松市、金沢市、横浜市より、各都市の推進ビジョン、これまでの実績と今後の方針が発表された。

発表の前後に講師より導入、統括が行なわれたことにより、「創造都市」を始めて知る参加者にも理解しやすい内容となった。実務者による取組事例はリアリティがあり、課題克服のヒントを求めた質問が多かった。特に行政と市民がいかに協働して取組を進めるかという課題が大きな焦点となった。

(3) 東アジア文化都市交流シンポジウム「文化芸術と都市の再生」

日程 : 平成26年2月26日(水) 13:00～ 16:00

会場 : 横浜市 ヨコハマ創造都市センター

主催 : 横浜市立大学・文化庁・創造都市ネットワーク日本

共催 : 横浜市文化観光局・ヨコハマ創造都市センター(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)・
YCC スクール・東アジア文化都市2014 横浜パートナー事業

内容 : コーディネーター

鈴木 伸治 横浜市立大学 教授

パネリスト

泉州市

王 敏(泉州市城市規画設計研究院 副院長)

張 澍楠(興世紀(香港)旅遊文化投資有限
会社 経営者)

光州広域市

趙 容準(朝鮮大学 名誉教授)

南 勝震(東亜人材大学校 教授)

姜 權(光州広域市都市デザイン課 公共
デザイン担当事務官)

横浜市

松村 岳利(横浜市文化観光局・横浜魅力
づくり室 室長)

国吉 直行(横浜市立大学 特別契約教授)



詳細は東アジア文化都市交流シンポジウム報告書を
参照されたい

【第5章 CCNJ ウェブサイトの拡充

(1) ウェブサイト全面リニューアルの実施



CCNJのさらなる情報発信力の強化のため、加盟団体からの積極的な情報発信をテーマに、デザインを含めウェブサイトのリニューアルを実施した。

昨年度と同様に文化芸術創造都市推進事業として実施したワークショップ、セミナーの告知・広報の実施はもちろん、2020年までに170団体の加盟を目指し、創造都市に関連する様々な情報を集約するためのプラットフォームとして機能するよう構成されている。(トップページ画面は上図参照)

トップページには、サイトを訪問したユーザが創造都市への理解を深めるための要素として、創造都市の取組をリードする各都市の画像を利用したスライドショーを配置した。その下部に、新着情報や参加団体からの情報発信内容を一覧表示することで、閲覧性の向上を図った。

またネットワークが拡大していく様子を表すために、加盟団体の徽章や団体ロゴマーク、イメージアイコンを団体一覧として掲載した。

上記に加えて、昨年に引き続き CCNJ 公式 Facebook ページを運用し、Web サイトリニューアル後は、投稿記事の内容が自動連携される仕様に変更を行った。その他にも、セミナー写真の公開などを行ったことで、有用な情報発信、広報の場として認知され始めている。

認知度を測る指標の一つとなる、ファン数は、320 件（平成 25 年 8 月 1 日時点）から、1,031 件（平成 26 年 3 月 31 日時点）と大きく数を伸ばし、創造農村 Facebook ページの 1,071 件（平成 26 年 3 月 31 日時点）と合わせると 2,102 件となった。今後の情報発信において、CCNJ 関係者にとどまらず、広くリーチできる媒体としての基礎力を培うことができた。

(2) 参加団体からの 情報発信コーナーを新設

サイトリニューアルの大きな要素として、新たに「参加自治体からの情報発信」コーナーを新設し、加盟団体の概略・主な創造都市の取組がわかる団体ページを設置した。仕組みとして CMS 機能を導入したことで、各参画団体の管理・請負のもと記事を更新することが可能となった。これにより、幹事団体に情報集約をせずとも、各々の団体が創造都市にまつわる様々な取組を自コーナーで積極的に情報配信できる体制が整った。(図 2 参照)

実際に、サイトリニューアル後には、続々と各地での取組の様子が投稿されており、CCNJ としての情報発信力が強化されたことが確認できたとともに、今後、各参加団体からのさらなる情報発信が行われることで、日本全国の創造都市に関する情報交換が行われることが期待される。

静岡市 | Creative City Network of Japan 創造都市ネットワーク日本

CCNJ Creative City Network of Japan 創造都市ネットワーク日本

HOME CCNJについて CCNJの活動 ニュース ネットワーク参加団体 創造都市とは

静岡市

お知らせ

イベント・セミナー

参加団体一覧に戻る

最新記事

2014.2.25 CCC文化祭—CCCクリエイター合同展覧会—を開催します

2014.2.25 シズオカカンヌウィーク2014を開催します。

月別アーカイブ

2014年2月 (2)

連絡先

静岡市

住所 〒420-8602 静岡市東区笠手町5番1号

担当部署 企画企業部企画課

電話番号 054-221-1020

メール kikaku@city.shizuoka.lg.jp

リンク 静岡市公式ホームページ

主な創造都市（農村）の取組紹介

大進芸ワールドカップ in 静岡

1992年から現在まで「大進芸ワールドカップ in 静岡」を毎年開催しています。これは、国内外の「フォーミングアーティスト」が静岡に集結し、その技を披露するイベントです。企業から運営まで市民が主体となったボランティアで行われており、最近では海外からボランティアに参加する人も増えています。現在では、会館前に会場を盛り上げる市民のファンが、期間中だけにとどまらず、平日大震災の被災地支援や、赤十字ビルクラウドとして病院で活動を行うなどといった、大進芸イベントにとどまらない社会的な活動も生まれるようになっていきます。

静岡市クリエイター支援センター

長い歴史の中で培われてきたものづくり産業を新しい分野に活かすため、CCC(静岡市クリエイター支援センター)を設立し、クリエイティブ産業の集積を図るとともに、クリエイターと地元企業とのマッチング、新商品開発を支援しています。

シズオカカンヌウィーク

新しい取り組みとして、「シズオカカンヌウィーク」というイベントが市民主体で立ち上がり、注目を集めています。当市と姉妹都市提携を結んでいるフランス・カンヌ市とのつながりをPRするイベントで、毎年開催中には、両国の企業やクリエイティブ、CCCに入居するクリエイターのワークショップなどが行われています。このイベントは、2013年には約193人の来場者がありました。

クリエイターの育成、コンテンツ産業の振興及びクリエイターと地域産業の連携等を推進する拠点として、様々なイベントやワークショップ、展覧会などが開催されています。

シズオカカンヌウィーク期間中は、中心市街地でのマルシェや清水港ウォーターフロントでの野外上映会が開催され、様々な発案が生まれます。撮影者：鈴木直里（静岡市民カメラマン）

サイト運営団体 | プライバシーポリシー | 当サイトのご利用について | お問い合わせ | サイトマップ | Creative City Network of Japan

(3) リニューアル後の閲覧コンテンツについて

リニューアルに合わせて、サイト解析ツールである GoogleAnalytics を導入。 ページ閲覧数上位 5 ページ（トップページを除く）のうち、4 ページが今回のリニューアルにて新設されたページとなった。唯一、自治体更新の記事でランクインした、静岡市が作成した記事「シズオカ×カンヌウィーク 2014 を開催します」が4位に入った背景としては、静岡市担当者の広報（ソーシャルネットワーク上でのシェアなど）に寄与するところが大きい。当ページの Facebook いいね・シェア数のみで合計が300を越えた。

○リニューアル 閲覧数上位 5 ページ ※トップページを除く

1 参加団体一覧

<http://ccn-j.net/network/list.html>

2 ネットワーク参加団体からの情報発信

<http://ccn-j.net/network/>

3 CCNJ について

<http://ccn-j.net/about/>

4 シズオカ×カンヌウィーク 2014 を開催します（静岡市）

<http://ccn-j.net//shizuoka/2014/02/2014.html>

5 創造都市とは

<http://ccn-j.net/what/>

(対象期間：平成 26 年 2 月 21 日～平成 26 年 3 月 31 日、計測方法：Google Analytics にて計測)

(4) 今後の課題

・モバイル/タブレット対応の充実

CCNJ 公式サイト訪問ユーザのうち、利用端末の割合は PC：モバイル（タブレット含む）＝6：4 となっている。今後、モバイルを利用した情報収集の流れが加速していくことから、公式サイトにもモバイル対応の充実が求められる。

・セミナー、ワークショップの動画アーカイブ

事業の一環として実施している各種セミナー、ワークショップについては、開催後に要約を作成・公開しているが、その場で発表された内容全てを集約することは困難なため、今後の情報発信・蓄積の方向性として、動画アーカイブ、ストリーミング配信といった手法が求められる。